

## OR タイヤ専門の尾道工場で第2プラントの開所式を開催 生産能力をさらに増強、2011年度には対2006年度比2.2倍へ

横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)は、10月22日、建設車両用(OR: Off the Road)タイヤの専門工場である尾道工場(広島県尾道市)で、建機メーカー、国内外のユーザー、販売代理店、尾道市行政関係者など約60名を招き、第2プラントの開所式を開催した。挨拶に立った横浜ゴムの小林達取締役兼執行役員は、第2プラントに続き今後さらに生産能力を増強し、2011年度には尾道工場の生産能力を対2006年度比2.2倍の月産2,500トンにすると表明した。

横浜ゴムは、世界的な資源開発、建設ラッシュを背景に、旺盛な需要が続くORタイヤ拡販に向けて、積極的な設備投資を進めている。第2プラントは、需要の高いホイールクレーン車や30~75トン級ダンプトラック向けの、内径25、33、35インチサイズの中小型ラジアルタイヤ生産工場で、2008年10月のフル生産を目標に、2006年2月から35億円を投じて建設工事を進めてきた。

開所式は、今年10月に25インチサイズが先行してフル生産に入ったため、これを記念して開催した。第2プラントがフル操業に入る2008年10月時点で、尾道工場の生産能力は月産1,620トンに達し、2006年2月時点に比べ1.5倍に増加する。また、同時点で尾道工場全体のラジアルタイヤ生産比率は40%となる。

横浜ゴムでは、今後も積極的に生産能力の拡大を進めていく。今年末には、約50億円を投じ、100~250トン級ダンプトラック向けの超大型タイヤの生産能力増強投資をスタートさせる。さらに、需要の伸びが著しい港湾用大型産業車両向け、地下鉱山車両向け、30~100トン級ダンプトラック向け中大型タイヤの生産能力も拡大させる予定で、こうした生産能力拡大策によって、尾道工場の生産能力を2011年度には月産2,500トンにまで引き上げる計画。

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム(株) 広報部 担当:石塚 木下  
TEL:03-5400-4531 FAX:03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部広報・IRグループ  
〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 TEL:(03)5400-4531 FAX:(03)5400-4570